

平成 28 年 9 月 20 日

He For She レセプション 安倍総理スピーチ

皆さんこんばんは。安倍晋三です。まず始めに、本会合の主催者であるニーニスト・フィンランド大統領とムランボ＝ヌカUN Women 事務局長の男女平等及び女性のエンパワーメントに関する先進的な取組に敬意を表したいと思います。また、エマ・ワトソンUN Women 親善大使のHe For Sheの推進における貢献に感謝を申し上げます。また本日は、たくさんのHe For She 支持者が集まるこの会合に参加できることをうれしく思います。

私はこれまで、日本の総理大臣として、インパクト・チャンピオンに選ばれ、「女性が輝く社会」の実現に取り組んでまいりました。

G 7 伊勢志摩サミットでは、首脳会合のみならず、全ての関係閣僚会合でも必ず女性の問題を議題として取り上げるよう指示しました。これはG 7 サミットの歴史上、初めてのことであります。

私は、「女性のエンパワーメントなくして日本経済の再生はない」と思っています。これまで女性の参画は社会政策という位置付けでありましたが、安倍政権では、これを経済政策と位置付け、アベノミクスを中心政策としてまいりました。

日本は高齢化が進み、少子化が進む中で、人口減少の局面に入っています。女性の潜在力を開放していかなければ、日本の経済成長は望めないと考えています。同時に、女性の活躍、あるいは多様性こそが社会を強靱にし、そしてそれは経済成長につながっていくと考えています。

日本の経済界に、上場企業には少なくとも重役に 1 人の女性を入れるように要請しております。私はその際良くこう申し上げるのです。もし、リーマン・ブラザーズが、リーマン・ブラザーズ&シスターズだったら、破綻しなかっただろう、と。女性が参加していくことによって、企業はもっとその魅力を生かしていくことにつながっていきます。それは企業だけではなくて、社会もそうですし、国もそうです。そして、世界もそうであろうと思います。

その実現のために始めたのが、国際女性会議WAW! です。He For She キャンペーンが訴えるように、女性のエンパワーメントの実現のためには、男性も変わらなければなりません。WAW! では、男性も巻き込んで変革を起こそうとしています。

3 回目となるWAW! は今年 1 2 月に東京で実施します。本日御出席の皆様にも、是非参加していただきたいと思います。御都合がつかない方は、オンラインでのフォローをお願いしたいと思います。

私たちのチャレンジは、まだ道半ばです。エマ・ワトソン親善大使が色々なところで訴えられておられるように、いまだかつて男女平等を実現した国はありません。しかし、私は、「女性が輝く社会」を必ず実現させていきたいと考えています。

日本は、いわゆる侍の国として、非常に保守的な国でもあります。しかし、日本が変われば世界が変わっていくと聞いています。皆さん、共に世界を変えていこうではありませんか。